

1. 木質バイオマス関連情報

■農水省、「バイオマス利用技術の現状とロードマップについて」(以下、「技術ロードマップ」)の見直しを実施。技術ロードマップはバイオマス利用技術の到達レベル、技術的な課題及び実用化の見通しについて、関係省庁・研究機関・企業による横断的な評価を行っているもので、2012 年 9 月に決定して以来、今回で 2 度目の見直し。今回の見直しのポイントとして、新規追加(7 件)や更新・見直した技術(31 件)があり、さらに「実用化、実証、研究の技術レベル毎に一覧表で技術を整理」、「活用事例が多い又は、今後、更なる活用が見込まれる等の主要な技術の課題について、対策の検討状況や進捗状況を整理」した点が挙げられている【農水省：2019/05/17】

http://www.maff.go.jp/j/shokusan/biomass/b_kihonho/pdf/roadmap_hontai.pdf

■(株) ジャパンエンジンコーポレーション(J-ENG)(兵庫)、バイオ燃料を用いたエンジン試験の共同研究開発契約を日本郵船(株)(東京)と締結。日本郵船の協力のもと、オランダのバイオ燃料製造会社 GoodFuels 社製のバイオ燃料油を使用して、J-ENG の筆頭株主である三菱重工業(株)の総合研究所(長崎)内にある、各種燃料の試験運転に対応可能な試験エンジンにて検証運転を実施する計画【J-ENG：2019/05/15、ひょうご経済プラス：2019/05/24】

<https://www.j-eng.co.jp/news/press/91.html>

<https://www.kobe-np.co.jp/news/keizai/201905/0012360780.shtml>

■日本コムシス(株)(東京)、鹿児島県枕崎市仁田浦における木質バイオマス発電所と木質燃料(チップ)製造工場建設にあたり、地鎮祭を実施(5 月 15 日)。日本コムシスは前田産業(株)(鹿児島)と 2017 年 10 月に発電事業会社「枕崎バイオマスエナジー合同会社」を、2017 年 11 月に木質燃料製造会社「枕崎バイオマスリソース合同会社」をそれぞれ設立。鹿児島県内で未利用となっている樹皮を中心とした 100%国産森林資源を使用して発電する。2020 年 10 月商業運用開始の予定で、発電

規模は 1,990kW。全量を九州電力(株)(福岡)へ売電する【日本コムシス(株)：2019/05/17、2018/01/19】

http://www.comsys.co.jp/release/pdf/release_20190517.pdf

http://www.comsys.co.jp/release/pdf/release_20180119.pdf

■日本製紙(株)(東京)、山口県岩国市にある同社岩国工場内で国内最大級の木質バイオマス発電所建設検討へ。出力は 11.2 万 kW、燃料は石炭及び木質バイオマス(木質チップ等)。生み出した電気は全量を電力会社などに販売。主力の洋紙事業が縮小するなか、木質燃料を安定調達できる強みを生かし、バイオマス発電を新たな収益の柱に育てる。2022 年に工事に着工し、2024 年稼働予定。総投資額は数百億円規模になる見通し【日本経済新聞：2019/05/18、山口県：2017/11/20】

<https://www.nikkei.com/article/DGKKZ044968430X10C19A5TJ2000/?ct=ga>

<https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/press/201711/039107.html>

■地方独立行政法人北海道立総合研究機構森林研究本部林産試験場(北海道)、「木質バイオマス燃焼灰の融雪資材としての利用法」を公表。北海道内で広まりつつある木質バイオマスのエネルギー利用によって発生する燃焼灰の有効利用を進めるため、薬剤や塗料等を含まない木材からの燃焼灰を対象に、融雪資材としての利用法を取りまとめたもの【林産試験場：2019/05/21】

<https://www.hro.or.jp/list/forest/research/fpri/manual/default.htm>

■解体・土木工事の(株)晴耕舎(新潟県長岡市)、省エネルギー機器販売の(株)千代田エネルギー(同新潟市)、廃棄物処理業者やリサイクル業者など新潟県内 6 企業が、自然エネルギーの利用や廃材の利活用に向け、「新潟エネルギー開発協同組合」を設立。出資金 120 万円で事務所は千代田エネルギーに置く。地球温暖化対策の一環で建設廃材によるバイオマス発電所の建設を目指すほか、業種の枠を超え連携して人材育成に取り組

む。当面は建設工事や資機材の販売、研修などによる人材育成で連携する。建築廃材の活用研究やバイオマス発電の先進地視察を行い、発電所建設を目指す。連携の輪を広げ、約 600 社の参加を目標とする【新潟日報モア：2019/05/22】

[https://www.niigata-](https://www.niigata-nippo.co.jp/news/economics/20190522470653.html)

[nippo.co.jp/news/economics/20190522470653.html](https://www.niigata-nippo.co.jp/news/economics/20190522470653.html)

■佐賀県佐賀市、ごみを焼却する清掃工場の排ガスから CO₂ を回収・売却する同市のバイオマス事業で、昨年 10 月に発生した故障に伴う部品交換の経費をメーカー側に請求しない方針を市議会特別委員会に報告（5 月 27 日）。故障したのは排ガスを冷却して塩分を取り除く循環ポンプ。メーカー側の部品はニッケル特殊鋼で、内側にフッ素樹脂加工を施すなどしてさびないようにしており、清掃工場からの配管にさびが生じポンプに入り込んで軸受けを破損させたと判断。CO₂ 回収装置は 2016 年 9 月に稼働し、メーカーの瑕疵担保期間の 1 年を過ぎていた。5 月 16 日にメーカー本社を訪れて協議した市の担当者は「対外的に説明がつかず、経費負担は難しい」と説明を受けるなどし、請求を断念【佐賀新聞 Live：2019/05/28】

<https://www.saga-s.co.jp/articles/-/379684>

■長野県松本市、CO₂ 排出削減を目的に、給湯・加温・暖房用のチップボイラを竜島温泉せせらぎの湯（同市内）に導入。松本市内でのチップボイラ導入は初。5 月 25 日には完成見学会と「松本地域における木質バイオマス利用に関するシンポジウム」を開催。導入したのは、オーストリアの Gilles（ギレス）社製チップ焚き温水ボイラ（定格出力 150kW、最大効率 93.2%、許容含水率 15～35%w.b.）で、国内代理店である二光エンジニアリング（株）（静岡）が供給。燃料の木質チップは、地元の松本平森林エネルギーが供給。燃料の貯留用に井上電設（株）（愛知）とラブ・フォレスト（株）（長野）が開発したコンテナ式燃料カートリッジ（10m³×2 台）も設置。コンテナには乾燥機能を付けており、ボイラの許容値を超えるチップについては乾燥機で乾かせるようになっている。ラブ・フォレストのボイラ遠隔監視システム「オンサイト」も導入し、ボイラの稼働情報、給湯温度、燃料の残量などを常時監視できるようになっている。事業費は 3,996 万円（税込）。環境省の「二酸化炭素抑制対策事業費等補助金（再生可能エネルギー電気・熱自立的普及促進事業）」採択事業【OSR No.373、ラブ・フォレスト（株）、松本平森林エネルギー（株）：2019/05/29、松本市：2019/05/28】

<http://blog.livedoor.jp/labforest/archives/29328308.html>

<http://matsuene.jp>

https://www.city.matsumoto.nagano.jp/shisei/kankyojoho/earth/torikumi/mokushitu_riyou.html

■経産省、「平成 30 年度新エネルギー等の導入促進のための基礎調査」のバイオマス燃料の安定調達・持続可能性等に係る調査報告書を公表。調査・報告書のまとめは三菱 UFJ リサーチ & コンサルティングが実施。「バイオマス燃料が他用途へ及ぼす影響に関する調査」、「バイオマス燃料の安定調達に関する調査」、「バイオマス燃料の持続可能性に関する調査」、「バイオマス燃料のライフサイクル GHG 排出量基準の検討」といった 4 つの観点から調査を行い、それぞれの章で調査結果を整理している【OSR No.373：2019/05/29、経産省】

https://www.meti.go.jp/medi_lib/report/H30FY/000087.pdf

■静岡県富士宮市、市北部の朝霧地区で発生する畜産ふん尿の余剰課題の解決を目指し、民間事業者によるバイオマス発電施設設置へ。国連が採択した「持続可能な開発目標（SDGs）」を推進する取り組みを市独自の「富士山 SDGs」として展開。同地区では現在、富士開拓農協や市などが環境省のモデル事業でバイオマス発電の実証実験を行っており、8 月末に実験を終える計画。市はこの事業とは別に民間のバイオマス発電施設による解決策を模索するとして 5 月 29 日の市議会全員協議会で方針を示した。市や事業者、関係団体などで組織する協議会を今夏までに立ち上げ、2019 年度内に基本計画を策定したい考え【静岡新聞：2019/05/30】

[\[s.com/news/article/economy/shizuoka/639710.html\]\(https://www.at-s.com/news/article/economy/shizuoka/639710.html\)](https://www.at-</p></div><div data-bbox=)

■2017 年 7 月の九州北部豪雨で甚大な被害を受けた福岡県朝倉市高木地区で、住民グループが流木や倒木を薪に加工。薪の需要が減る夏場に向け、消臭や入浴剤に使えるチップ化したヒノキも売り出した。販売収入を地元に戻し、傷ついた地域の再生を目指す【毎日新聞：2019/05/30】

<https://mainichi.jp/articles/20190530/k00/00m/040/084000c>

■経産省資源エネルギー庁、2019 年度中の FIT 認定の申請にかかる期限日を公表。例年年度末に FIT 認定の新規・変更認定

申請が集中することから、年度内の案件としてこれらの申請の審査を希望する場合の申請期限日を設定している。太陽光（10kW 以上 500kW 未満）、風力、水力、地熱、バイオマス（他省庁協議不要）の新規・変更認定申請期限日は 2019 年 12 月 20 日（金）。バイオマス（他省庁協議必要）の新規・変更認定申請期限日は 2019 年 12 月 6 日（金）【資源エネルギー庁：2019/05/31】

https://www.enecho.meti.go.jp/category/saving_and_new/saiene/kaitori/dl/announce/20190531.pdf

■佐賀市下水浄化センター（佐賀）で取り組むバイオマス事業、設備投資を抑え、2017 年に示していた事業費 30 億 7 千万円から 9 億 2 千万円減の 21 億 5 千万円になる見込み。当初の計画ではバイオマス資源を車両で運搬するため脱水する工程が必要だったが、液状のまま処理できるようにするため、管理費や改修費が抑えられることに。事業は汚泥などからバイオガスを発生させて発電するもので、2022 年度までに建設。2023 年度操業を目指す【佐賀新聞 Live：2019/05/31】

<https://www.saga-s.co.jp/articles/-/381080>

■会津森林活用機構（株）（福島）、会津地域 13 市町村に賦存する森林を再生する事業を開始。間伐材を収集してボイラで熱利用する。まず 3 カ所の公共施設へ供給する事業を 2020 年の年初に開始する【日刊工業新聞：2019/05/31】

<https://www.nikkan.co.jp/articles/view/00518571>

■（株）リコー（東京）およびリコージャパン（株）（東京）が長野県木曽町と地域資源の利活用促進に係る連携協定を締結。木曽町は「木曽町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、地方創生に取り組む中で 13 のプロジェクトを立ち上げている。その中で「再生可能エネルギー活用推進プロジェクト」では木質バイオマスを中心とした地域から生成される未利用材・支障木等の資源をエネルギー源として町内に循環する仕組みを構築することを目指している。今回の連携協定では、リコーおよびリコージャパンからの申し出により、町の地方創生戦略・環境・バイオマスの推進に特化した支援が行われることに【（株）リコー、長野県木曽町：2019/06/05】

https://jp.ricoh.com/release/2019/0605_1/

[https://www.town-](https://www.town-kiso.com/chousei/kouhou/100280/101027/)

[kiso.com/chousei/kouhou/100280/101027/](https://www.town-kiso.com/chousei/kouhou/100280/101027/)

■（一社）日本木質バイオマスエネルギー協会（東京）、木質バイオマスのエネルギー利用について学習する機会を提供する活動を開始。平成 30 年度日本森林林業振興会・森林林業振興助成事業で作成したテキスト「私たちのくらしと木質バイオマスエネルギー～バイオエコノミーによる循環型社会の創造～」を活用し、学校教育等で活用してもらうことがねらい。出前授業や林業の現場見学、木質バイオマス発電所・熱利用施設見学といった支援メニューが用意されている。詳細は下記サイトを参照【（一社）日本木質バイオマスエネルギー協会：2019/06/05】

<https://www.jwba.or.jp/2019/06/05/%E3%83%8B%E3%83%A5%E3%83%BC%E3%82%B9-%E6%9C%A8%E8%B3%AA%E3%83%90%E3%82%A4%E3%82%AA%E3%83%9E%E3%82%B9%E3%81%AE%E3%82%A8%E3%83%8D%E3%83%AB%E3%82%AE%E3%83%BC%E5%88%A9%E7%94%A8%E3%81%AB%E3%81%A4%E3%81%84%E3%81%A6%E5%AD%A6%E7%BF%92%E3%81%99%E3%82%8B%E6%A9%9F%E4%BC%9A%E3%82%92%E6%8F%90%E4%BE%9B%E3%81%99%E3%82%8B%E6%B4%BB%E5%8B%95%E3%82%92%E3%81%AF%E3%81%98%E3%82%81%E3%81%BE%E3%81%97%E3%81%9F/>

■銘建工業（株）（岡山）、本社工場敷地内にある木材保管倉庫を解体した跡地にバイオマス発電施設新築へ。（株）大本組（岡山）が施工。秋頃から解体に着手し、2021 年 7 月中の完成を目指し工事を進める見通し【建通新聞：2019/06/06】

https://www.kentsu.co.jp/webnews/html_top/19060600005.html

■林野庁、「平成 30 年度森林及び林業の動向」及び「令和元年度森林及び林業施策」（「平成 30 年度森林・林業白書」）が国会提出案件として閣議決定されたと発表（6 月 7 日）。全文版、概要版共サイトから閲覧可【林野庁：2019/06/07】

<http://www.rinya.maff.go.jp/j/press/kikaku/190607.html>

■経産省資源エネルギー庁、エネルギーに関する政策や取り組み、今後の方向性などがまとめられている「エネルギー白書 2019」を 6 月 7 日に公開。主なトピックは次の通り：① 福島の復興・再生に向けた最近の取り組み、② パリ協定をふまえた地球温暖化対策・エネルギー政策、③ 電力・ガス・燃料供給のレジリエンス対策の重要性。その他国内外の「エネルギー動向」や、「再生可能エネルギーの導入加速～主力電源化に向けて～」といった 2018 年度に講じられた施策の状況について詳述。サ

イトより閲覧可【経産省省エネルギー庁：2019/06/07】

<https://www.enecho.meti.go.jp/about/special/johoteikyo/energyhaku2019.html>

■環境省、令和元年版環境白書・循環型社会白書・生物多様性白書が6月7日に閣議決定されたと発表。本年の白書のテーマは「持続可能な未来のための地域循環共生圏―気候変動影響への適応とプラスチック資源循環の取組―」。サイトよりPDF版を閲覧可【環境省：2019/06/07】

<http://www.env.go.jp/press/106862.html>

■群馬県桐生、みどり両市の森林資源の利用拡大に向け、桐生市梅田町に木材市場「桐生木材ヤード」を開設。県森林組合連合会が運営し、桐生広域森林組合などが協力する。住宅用木材のほか、木質バイオマス発電用燃料など様々な需要に応じる。林地に放置されていた木材も受け入れ、環境整備や林業従事者の所得向上につなげる【上毛新聞：2019/06/07】

<https://www.jomo-news.co.jp/news/gunma/politics/137117>

■木質バイオマス発電事業者と北海道道央地区（石狩・空知エリア）の8つの森林組合が、山林未利用材の集荷・搬出で需給体制を構築することに合意し、6月7日に「道央地区未利用バイオマス供給協議会」を設立。森林組合、発電事業者、商社など関係者約100名が参加。未利用材の所在・数量・種別などの関連情報を一元管理し、地産地消をベースに地域の材を継続的・安定的に供給する仕組みをつくって有効活用することが協議会の狙い【OSR No.375：2019/06/12、日刊木材新聞社：2019/06/08、(株)URBAN IMAGE:

2019/06/17】

https://jfpj.jp/mokuzai_news/5361

<http://urban-image.jp/2019/06/%e9%81%93%e5%a4%ae%e5%9c%b0%e5%8c%ba%e6%9c%aa%e5%88%a9%e7%94%a8%e3%83%90%e3%82%a4%e3%82%aa%e3%83%9e%e3%82%b9%e4%be%9b%e7%b5%a6%e5%8d%94%e8%ad%b0%e4%bc%9a/>

■(株)日本海水(東京)、福岡県苅田町における木質バイオマス発電所の建設・運転等を目的とした新会社を6月3日に設立。社名は「(株)日本海水TTS苅田パワー」。出資企業は日本海水(68%)、(株)ティーティーエス企画(30%)、(株)タクマ(2%)の

三社。タクマの50MW規模のバイオマス発電ボイラで、燃焼方式がトラベリング式ストーカ方式のものを採用。燃料はPKSや国内材(建設廃材や樹皮など)で28万t/年、供給元の民間企業と長期安定供給契約を締結している。日本海水は製塩工程で大量の電力を使用することから、2014年度に赤穂工場(兵庫)の老朽化した製塩用ボイラを更新するにあたり木質バイオマス発電所を建設。同地で建設中の第2バイオマス発電所は2020年9月運開予定。電力事業が同社の基幹ビジネスとして大きく成長しつつある中、製塩工場とは別の独立した立地で新たな木質バイオマス発電所の建設を行う。2021年4月建設を開始し、2023年10月運転開始予定【(株)日本海水：2019/06/10】

<https://www.nihonkaisui.co.jp/files/uploads/%E8%8B%85%E7%94%B0%E7%99%BA%E9%9B%BB%E3%83%AA%E3%83%AA%E3%83%BC%E3%82%B9%EF%BC%88HP%E7%89%88%EF%BC%892.pdf>

■(一社)環境共創イニシアチブ(SII/東京)、「平成30年度補正予算災害時にも再生可能エネルギーを供給力として稼働可能とするための蓄電池等補助金(地域マイクログリッド構築支援事業のうち、マスタープラン作成事業)」の交付決定事業者を発表。11件が申請し、採択された5件のうち阿寒農業協同組合(北海道釧路市)、(株)karch(北海道河東郡上士幌町)、真庭バイオマス発電(株)(岡山県真庭市)の3件がバイオマス発電設備を含む再生可能エネルギーの自立的な電源の活用を目的とする、地域マイクログリッドの構築に向けたマスタープランの作成を行う予定【(一社)環境共創イニシアチブ：2019/06/10】

<https://sii.or.jp/microgrid30r/note.html#A3>

■北海道石狩市と北海道電力(株)(北海道)が、石狩市における再生可能エネルギー発電事業等に関する地域連携協定を締結。近年石狩市において風力や太陽光、バイオマス発電などの電源の開発が進んでいるが、開発主体の多くが道外資本であること等が課題。そこで石狩市と北海道電力が連携・協力し、地域内において資金循環を図る仕組みの構築や再エネを活用した地域の低炭素化、さらに再エネの利活用技術等を有する産業の育成検討、持続可能な地域社会の実現に向けた地域密着型のビジネス開発検討などを進めていくとしている【北海道石狩市：2019/06/13】

<http://www.city.ishikari.hokkaido.jp/soshiki/kouwank/46069.html> !

■佐賀県唐津市と進出協定を結んでいたバイオマス発電の合同会社が、7月に予定していた操業開始を2023年10月まで延期に。バイオマス発電は市と宮崎県の会社が設立した合同会社「イノセントバイオマスパワー」が計画しているもので、当初はPKSを原料に出力2万5,000kWの発電所を約95億円かけて建設。九州電力への売電収入を年間44億円と見込んでいた。変更した計画では出力が5万kWに増え、ボイラも水冷から空冷に変わり、完工が2023年夏になるとしている。発電所建設地は、以前宅地分譲計画があったが、長く塩漬け状態になっていた場所で、2015年に市が市土地開発公社から9億4,400万円で購入。うち8億円相当の土地を3億円と、5億円の損失を出して売却した土地。市は固定資産税で20年間に9億2,500万円の税金を見込んでいたが先送りとなり、市議会一般質問で問題視する声が上がった【佐賀新聞Live：2019/06/14】

<https://www.saga-s.co.jp/articles/-/387126>

■佐賀県東松浦郡玄海町、家畜の排せつ物を利用するバイオガス発電所の建設計画があることを明らかに（6月13日）。排せつ物の活用策を確保することで、これまで飼育頭数を抑えてきた畜産農家は規模の拡大が見込める。排水処理装置の設計などを手掛けるシンコー（株）（本社・福岡）が22億1千万円をかけて建設する。町によると2019年3月末時点で町内の畜産農家は36戸。牛や豚は計6,868頭、排せつ物は年間で7万1千tに上る。発電所の稼働後は同社が買い取り、抽出するメタンガスを燃料にして発電する設備を造る。電気はFITを利用し九州電力（株）（福岡）に売る予定。町は2011～12年度にバイオマスセンター建設を検討したが巨額の建設費がかかることから断念した経緯があり、今回は7月に国が募集する「バイオマス産業都市」に応募、認定を受けた上で交付金を申請し、発電所の建設費を助成する。建設地は調整中で、2020年度に着工、2021年度運転を目指す【佐賀新聞Live:2019/06/14】

<https://www.saga-s.co.jp/articles/-/387140>

■（株）タクマ（兵庫）、五洋建設（株）（東京）と共同で勇払エネルギーセンター合同会社（北海道）よりバイオマス専焼発電設備を受注。勇払エネルギーセンター合同会社は、日本製紙（株）（東京）と双日（株）（東京）により設立されたバイオマス発電事業会社。日本製紙の北海道工場勇払事業所の敷地の一部を利用してバイオマス発電所（出力74,950kW）を建設する。

燃料は主に海外の木質チップやPKSのほか、国内の未利用材を使用する計画で、発電した電力はFITを活用し北海道電力（株）（北海道）に販売される予定。2020年3月着工、2023年1月運転予定、受注額は非公表【（株）タクマ、ひょうご経済+：2019/06/14】

<https://www.takuma.co.jp/news/2019/20190614.html>

<https://www.kobe-np.co.jp/news/keizai/201906/0012439651.shtml>

■三重県紀北町上里に持ち上がっている小型の木質バイオマス発電所事業計画について、事業者が2回目の住民説明会を開催。地元とその周辺の上里、河内、細野の計3地区の住民ら約40人が出席。事業者の説明によると木質バイオマス発電所は、県内や奈良県などにある事業者が所有する山林や町周辺の間伐材を使用。丸太をチップにした後、チップをいぶした際に出るガスを使って発電する計画で、間伐材は年間5,000t使用する予定。発電出力450kW、熱出力670kW。この日は3月にあった1回目の説明会で住民から出た原材料の調達や排出ガスの処理方法などの質問に事業者が答える形で進められた。住民らは発電の原材料調達への不安や住民の合意なしに計画が進められていることへの懸念を訴え、説明会后、出席した住民全員の意向として同事業に「反対」することを確認。事業を進めたい事業者側との間で平行線をたどった【伊勢新聞:2019/06/17】

<https://www.isenp.co.jp/2019/06/17/33090/>

■東北おひさま発電（山形）、同県飯豊町にバイオマス発電所新設へ。隣接地の畜産農家の牛が出す排せつ物をパイプラインで運んでガスに変え、電気と熱を得る。発電所に併せて飯豊町は隣接地に畜産団地を作り、米沢牛の一貫生産拠点にする。一連の事業は近く着工、2020年5月の稼働を目指す。投資額は約10億円【日本経済新聞：2019/06/19、東北おひさま発電】

<https://www.nikkei.com/article/DGXMZO46311380Z10C19A6L01000/?ct=ga>

<http://tohoku-ohisama.co.jp/biogas/>

※OSR：バイオマス・再可エネ等の専門情報誌
「オンサイト・レポート」の略

2. ペレット関連情報

■カナダの2018年対日農林水産品輸出で、豚肉、木質ペレットなどが増加を牽引。カナダ統計局が5月9日に発表した2018年貿易統計によると、日本へのカナダの農林水産品輸出額は、前年比5.1%増の58億8,479万カナダ・ドル（約4,825億5,300万円、※10ドル＝約82円）。木質ペレットは主要輸出品目の農林水産品の上位20品目に入っており、2018年度の輸出額は115,625,000カナダ・ドル（約94億8,125万円）。前年比171.0%増で農林水産品内における寄与度は1.3ポイント（豚肉は1.4ポイント）と、大きく貢献

【JETRO：2019/05/23】

<https://www.jetro.go.jp/biznews/2019/05/8f4252995f619bba.html>

■（株）日本政策投資銀行（以下「DBJ」、東京）、下関バイオマスエナジー合同会社（本社・福岡）に対し（株）山口銀行（山口）、三井住友信託銀行（株）（東京）と共同でプロジェクトファイナンスを組成。下関バイオマスエナジー合同会社は山口県下関市でのバイオマス発電事業を目的として、九電みらいエナジー（株）（福岡）、西日本プラント工業（株）（同）および九電産業（株）（同）の共同出資により設立された合弁会社。東南アジアや北米から輸入する木質ペレットを燃料とし、発電出力が約75MWの発電所を建設・運営する計画。同ファイナンスでは、DBJがリードアレンジャー、山口銀行および三井住友信託銀行がコ・アレンジャーとなり、3行でシンジケート団を組成する。融資額は非公開。5月24日に起工式を実施。総工費約300億円。2022年1月の運開を目指す【DBJ、日本経済新聞：2019/05/24、毎日新聞：2019/05/25】

https://www.dbj.jp/ja/topics/dbj_news/2019/html/0000034055.html

<https://www.nikkei.com/article/DGXMZO45241100U9A520C1LX0000/?ct=ga>

<https://mainichi.jp/articles/20190525/ddl/k35/020/453000c>

■再生可能エネルギー関連産業の育成支援に取り組む福島県のエネルギー・エージェンシーふくしま（EAF）が、同県に地域熱供給システムの導入を目指す考えを明らかに（5月23日）。地域熱供給の実現に向けて同日、デンマークの官民機関「ステ

ート・オブ・グリーン」と再生エネ分野で連携する覚書を締結。同国のノウハウを取り入れ、発電効率を高める技術開発や企業間の交流促進につなげるのが狙い。寒冷地のデンマークでは約100年前から地域熱供給の試みを開始。発電所や工場、廃棄物焼却施設から出た熱を一時的に蓄熱し、導管（パイプライン）を通じて温水が家庭のヒーターに送られる。熱源は化石燃料に加え、麦わらや木質ペレット、再生エネなど多岐にわたり、需給に応じて選択できるのが特徴。地域熱供給を巡っては、県も実現可能性の有無を検討中。導管を地中に埋設して張り巡らせる必要があるため、高額な初期投資や敷地の確保など実現へのハードルは高いが、EAF代表は「導管の敷設は課題だが、不可能ではないと思う」と意欲を示している【福島民友：2019/05/24】

<http://www.minyu-net.com/news/news/FM20190524-380240.php>

■固体バイオ燃料国際規格化研究会（茨木）、5月17日に設立総会。同研究会は、木質ペレットやチップなど固体バイオマス燃料の国際規格（ISO規格）について、改正・新設に主体的に参画できるよう図るべく設立された組織。発起人は、国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所（茨木）の吉田貴紘氏、近畿大学バイオコークス研究所所長/教授の井田民男氏、（一社）日本木質ペレット協会会長の岡本利彦氏、およびペレットクラブ代表理事の小島健一郎。固体バイオ燃料の国際規格について議論・策定するISO/TC238委員会において、日本は現在意見申し立てができない立会人国（Oメンバー）の立場であり、今後正規の参加国（Pメンバー）に昇格して日本が国際規格策定に主導的役割を果たし、国際規格に沿ったルールで固体バイオ燃料が生産、取引、消費されることを目的に研究会を設立する。設立総会当日の午後には「固体バイオ燃料国際規格化シンポジウム」を開催。ISO/TC238議長を務めるLennart Jansson氏が「固体バイオ燃料のISO規格—その歴史と意義—」と題して特別招待講演を行った。6月14日には研究会代表幹事の吉田氏が、参加してきた第11回ISO/TC238年次会議（5月19日～24日、韓国のソウルで開催）の報告会を開催。入会案内は下記サイトを参照【OSR No.373：2019/05/29、固体バイオ燃料国際規格化研究会】
<https://solidbiofuelsforum.wixsite.com/symposium2019>

■沖縄うるまニューエナジー（株）（沖縄）、沖縄県内最大となる「中城バイオマス発電所」起工式を実施。同社は、イーレックス（株）（東京）、九電みらいエナジー（株）（福岡）、トーヨーカネツ（株）（東京）、沖縄ガス（株）（沖縄）、（株）九電工（福岡）、東京ガスエンジニアリングソリューションズ（株）（東京）、および沖縄県内地元企業等の合計 11 社の共同出資により、2017 年 7 月設立。計画では発電所の燃料は PKS、木質ペレット約 20～25 万 t/年。定格出力は 49,000 kW。一般家庭約 11 万世帯分の年間消費電力に相当する約 350,000 MWh/年発電する。2021 年 7 月末営業運転開始予定【イーレックス（株）：2019/05/30】

https://www.erec.co.jp/news/wp-content/uploads/2019/05/190530_okinawa_groundbreaking_ceremony.pdf

■使用済み紙おむつを木くずと混ぜて加工し、ボイラなどで使えるペレット燃料に。この研究に取り組んでいるのは、新潟県新潟市で高齢者施設や保育園などを運営する社会福祉法人勇樹会。3 月に同市南区に研究所を設け、JA 新潟みらい（新潟）や新潟大学（同）と共に事業を進めている。施設から出る使用済み紙おむつは約 350 kg/日。これを専用の機械で 17 時間かけて破碎し、乾燥、滅菌の工程を経て綿状にした後、木くずを混ぜて直径 6 mm ほどのペレットに加工している。紙おむつの再利用は各地で広がりつつあり、国もガイドラインを作って後押ししようとしている【朝日新聞：2019/05/30】

<https://www.asahi.com/articles/ASM5N5G6SM5NUOHB00R.html>

■出光興産（株）（東京）、山口県周南市にある同社徳山事業所の製油所跡地と既存のインフラを活用するバイオマス発電の事業化を決定。発電出力は 5 万 kW、年間発電規模は約 10 万世帯分の電力に匹敵する 3 億 6 千万 kWh の大型木質バイオ

マス発電所。FIT を通じて売電する計画。燃料は輸入木質ペレットと PKS で、約 23 万 t/年使用。運開は 2022 年度内の予定【出光興産（株）：2019/06/03】

<https://ssl4.eir-parts.net/doc/5019/tdnet/1717190/00.pdf>

■（株）プロスペクト（東京）、ロシアにおける木質ペレット製造事業に進出していることを公表。極東ロシア最大の林業事業者である RFP（Russia forest products）グループと合弁会社を立ち上げ、RFP グループが所有する木材製材工場から排出されるおが屑等を原料とし、同工場の隣接地（極東ロシアのアムールスク）に木質ペレット製造工場を建設。その木質ペレットを日本のバイオマス発電所の燃料として輸出する。顧客は主として FIT を利用するバイオマス発電所を想定。

2018 年 5 月造成工事着工、2019 年秋を目途に稼働予定。工場建設 1 ケ所当たり 25～30 億円程度の投資額を見込んでおり、今後ロシア国内数ヶ所に工場を建設することを目指している【みんなの株式：2019/06/03、（株）プロスペクト】

<https://minkabu.jp/news/2405677&ct=ga>

<https://www.prospectjapan.co.jp/solar/index.html>

■日本ペレットストーブ工業会（岐阜、以下 PSJ）、国内外のペレットストーブを集めた「第一回ジャパンペレットストーブショー」を富山県富山市のグランドプラザで開催（6 月 6 日）。PSJ が普及を進めようと初めてショーを企画。環境先進都市の富山市を会場に選んだ。会場には 17 社の商品 50 台がずらりと並び、各社の担当者が自社製品の特徴を紹介。来場者は興味津々の様子で聞き入ったり設置の相談をしたりしていた【中日新聞：2019/06/07】

<https://www.chunichi.co.jp/article/toyama/20190607/CK2019060702000235.html>

※OSR：バイオマス・再可エネ等の専門情報誌「オンサイト・レポート」の略

3. イベント情報（国内）

◎：木質ペレット燃料、ストーブ、ボイラの関連イベント

■高知県立林業大学学校校長 隈研吾講演会

月日 2019 年 7 月 4 日（木）

場所 東京大学ユビキタス情報基盤研究センターダイワユビキタス学術研究館 ダイワハウス石橋信夫記念ホール（3 階）（東京都文京区）

<https://kochi->

forestry.ac.jp/%e9%ab%98%e7%9f%a5%e7%9c%8c%e7%ab%8b%e6%9e%97%e6%a5%ad%e5%a4%a7%e5%ad%a6%e6%a0%a1-%e6%a0%a1%e9%95%b7-%e9%9a%88%e7%a0%94%e5%90%be%e8%ac%9b%e6%bc%94%e4%bc%9a%e3%81%ae%e3%81%94%e6%a1%88%e5%86%85/

■（一社）NECO（自然エネルギー共同設置推進機構）「持続可能な成長のためのエネルギー転換と地球環境に関する地域会議エネルギーイベント『強くてしなやかな上田のつくり方』」

月日 2019年7月5日（金）

場所 上田映劇（長野県上田市）

<http://www.shin-ene.net/information/4720>

■地球環境市民会議（CASA）「第27回地球環境市民講座 ■第2回 ■ パリ協定の実現に向けて ～再生可能エネルギーの普及のために～」

月日 2019年7月6日（土）

場所 ドーンセンター5階、大会議室2（大阪府大阪市）

<https://www.bnet.jp/casa/2/51.html>

■持続可能な社会構築のための林業イノベーション研究会（FIRG）「出版記念シンポジウム 森林未来会議 森を活かす仕組みをつくる」

月日 2019年7月9日（火）

場所 東京大学弥生講堂一条ホール（東京都文京区）

[http://www.j-fic.com/wp/wp-](http://www.j-fic.com/wp/wp-content/uploads/2019/06/shinrin.pdf)

[content/uploads/2019/06/shinrin.pdf](http://www.j-fic.com/wp/wp-content/uploads/2019/06/shinrin.pdf)

■NEDO「バイオマスエネルギー技術と事業化・経営セミナー in 東北 ―バイオマスエネルギーの地域自立システム化実証事業ワークショップ『FIT制度に頼らない事業の実現に向けて』―」

月日 2019年7月9日（火）

場所 TKP ガーデンシティ仙台会議室ホール21D（宮城県仙台市）

https://www.nedo.go.jp/events/FF_100118.html

■第14回再生可能エネルギー世界展示会（RE2019）

月日 2019年7月10日（水）～7月12日（金）

場所 パシフィコ横浜（神奈川県横浜市）

<http://www.renewableenergy.jp/>

◎北海道・（一社）日本木質バイオマスエネルギー協会「木質バイオマス地域利用セミナー『小型の木質バイオマスボイラー導入に向けて』」

月日 2019年7月12日（金）

場所 TKP 札幌ビジネスセンター赤れんが前5階 チューリップ（北海道札幌市）

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/sr/rrm/baiosemina-.htm>

■Climate Action Network Japan（CAN-Japan）「G20 大阪サミット&国連気候変動ボン会議合同報告会～G20 議長国・日本の課題と世界の脱炭素の最前線～」

月日 2019年7月12日（金）

場所 ビジョンセンター永田町6F ビジョンホール（東京都千代田区）

<https://www.can-japan.org/events-ja/2586>

■岩手・木質バイオマス研究会2019年度総会/総会併催講演会「地域から考える木質バイオマス利用・久慈編」

月日 2019年7月13日（土）

場所 岩手県民情報交流センター“アイーナ”5F（501会議室）（岩手県盛岡市）

<https://wbiwate.jimdo.com/%E3%82%A4%E3%83%99%E3%83%B3%E3%83%88%E6%83%85%E5%A0%B1/>

■立教大学ESD研究所「自然エネルギー100%を実現した大学 - 大学がサステナビリティに果たす役割 -」

月日 2019年7月16日（火）

場所 立教大学池袋キャンパス本館2階1203教室（東京都豊島区）

<https://www.rikkyo.ac.jp/research/institute/esd/>

■分散型エネルギー関係団体共同イベント「地域型バイオマスフォーラムーバイオマス分散型エネルギー創出による地域サービスを考えるー」

月日 2019年7月19日（金）

場所 国立オリンピック記念青少年総合センターセミナーホール（東京都渋谷区）

<https://719forum.peatix.com/>

■国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所 平成31年度（前期）森林講座「殺して活かす、ニホンジカ ー捕獲個体から得られるアレコレ」

月日 2019年7月19日（金）

場所 国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所 多摩森林科学園（東京都八王子市）

<http://www.ffpri.affrc.go.jp/news/2019/20190306shinrinkouza/index.html>

■NPO 農都会議バイオマスアカデミー第2回「確実に失敗しないバイオマス・熱利用施設、システムの設計・施工方法～そのバイオマス熱利用プロジェクトは何年で黒字転換できるのか～」

月日 2019年7月23日（火）

場所 東京都港区内のカンファレンス会場を予定

<http://blog.canpan.info/bioenergy/archive/268>

◎自然エネルギー信州ネット「信州自然エネルギーマルシェ 2019 in 諏訪」

月日 2019年7月27日（土）

場所 諏訪市文化センター（長野県諏訪市）

<http://www.shin-ene.net/swacolabo/4712>

■兵庫県立森林大学校「県立森林大学校のオープンキャンパス」

月日 2019年7月27日（土）

場所 兵庫県立森林大学校（兵庫県宍粟市）

<https://web.pref.hyogo.lg.jp/cs01/opencampus2019.html>

■地球環境市民会議（CASA）「第27回地球環境市民講座 ■第3回■1.5℃未満に抑えるために 日本は、私たちは何をすべきか？」

月日 2019年7月27日（土）

場所 ドーンセンター5階、大会議室2（大阪府大阪市）

<https://www.bnet.jp/casa/2/51.html>

■宮崎県林業技術センター「令和元年度『みやざき林業大学校オープンキャンパス』」

月日 2019年7月27日（土）および28日（日）

場所 宮崎県林業技術センター（宮崎県東臼杵郡美郷町）

http://www.pref.miyazaki.lg.jp/contents/org/kankyo/shinrin/mfc/topics/topics_rindaikouopencampus.html

◎バイオマスエキスポ実行委員会

・「次世代森林産業展 2019 FORESTRISE 2019 Innovative & Integrative Woods Industries」

・「バイオマスエキスポ 2019 Nagano」

月日 2019年8月1日（木）～8月3日（土）

場所 ビッグハット/若里ホール（長野県長野市）

<http://www.forestrise.jp/>

■（一社）日本エネルギー学会「第28回日本エネルギー学会大会」

月日 2019年8月7日（水）～8日（木）、9日（金）はテクニカルツアー

場所 関西大学千里山キャンパス（大阪府吹田市）

<https://www.jie.or.jp/publics/index/664/>

■第4回「山の日」記念全国大会実行委員会「第4回『山の日』記念全国大会」

月日 2019年8月11日（日）

場所 山梨県甲府市

<https://www.pref.yamanashi.jp/yamanohi/gaiyo.php>

■NPO 法人バイオマス産業社会ネットワーク第184回研究会

月日 2019年8月29日（木）

場所 地球環境パートナーシッププラザ（GE00）（東京都渋谷区）

http://www.geoc.jp/rashinban/event_detail_37129.html

■兵庫県立森林大学校「県立森林大学校のオープンキャンパス」

月日 2019年8月31日（土）

場所 兵庫県立森林大学校（兵庫県宍粟市）

<https://web.pref.hyogo.lg.jp/cs01/opencampus2019.html>

◎（一社）日本エネルギー学会バイオマス部会「2019年度バイオマス夏の学校」

月日 2019年9月3日（火）～4日（水）

場所 愛媛県内のバイオマス関連施設、製紙工場

<https://www.jie.or.jp/publics/index/472/>

■国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所 平成31年度（前期）森林講座「火に負けない木づかい」

月日 2019年9月13日（金）

場所 国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所 多摩森林科学園（東京都八王子市）

<http://www.ffpri.affrc.go.jp/news/2019/20190306shinrinkouza/index.html>

◎リードエグジビションジャパン（株）「国際バイオマス展（関西展）」

月日 2019年9月25日（水）～27日（金）

場所 インテックス大阪（大阪府大阪市住之江区）

<https://www.bm-expo.jp/ja-jp.html>

◎（一社）日本木工機械工業会「日本木工機械展/ウッドエコテック2019」

月日 2019年10月3日（木）～6日（日）

場所 ポートメッセなごや「名古屋市国際展示場」（愛知県名古屋市）

<https://mokkiten.com/>

■福島県「第2回ふくしま植樹祭～ABMORI～」

月日 2019年10月6日（日）

場所 ふくしま県民の森フォレストパークあだたら（福島県安達郡大玉村）

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36055d/2syokuzyusai.html>

■国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所 平成31年度（前期）森林講座「放射能に汚染されたシイタケ原木林の利用再開に向けて」

月日 2019年10月11日（金）

場所 国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所 多摩森林科学園（東京都八王子市）

<http://www.ffpri.affrc.go.jp/news/2019/20190306shinrinkouza/index.html>

■びわ湖環境ビジネスメッセ実行委員会「びわ湖環境ビジネ

スメッセ2019」

月日 2019年10月16日（水）～10月18日（金）

場所 長浜バイオ大学ドーム（滋賀県長浜市）

<http://www.biwako-messe.com/>

■高知県立林業大学校長 隈研吾講演会

月日 2019年10月28日（月）

場所 高知県立美術館ホール（高知県高知市）

<https://kochi-forestry.ac.jp/%e9%ab%98%e7%9f%a5%e7%9c%8c%e7%ab%8b%e6%9e%97%e6%a5%ad%e5%a4%a7%e5%ad%a6%e6%a0%a1-%e6%a0%a1%e9%95%b7-%e9%9a%88%e7%a0%94%e5%90%be%e8%ac%9b%e6%bc%94%e4%bc%9a%e3%81%ae%e3%81%94%e6%a1%88%e5%86%85/>

■（公財）福島県産業振興センター「第8回ふくしま再生可能エネルギー産業フェア」

月日 2019年10月30日（水）～31日（木）

場所 ビックパレットふくしま（福島県郡山市）

<http://reif-fukushima.jp/>

◎（一社）日本能率協会「Japan Home & Building Show 2019 内、第41回ジャパンホームショー」

月日 2019年11月13日（水）～15日（金）

場所 東京ビッグサイト 西1・2・3・4ホール（東京都江東区）

<https://www.jma.or.jp/homeshow/>

■（一社）日本能率協会「バイオマスエキスポ2019 秋『バイオマスエネルギーが導く田園からの産業革命』」

月日 2019年11月20日（水）～22日（金）

場所 東京ビッグサイト西3.4ホール（東京都江東区）

<https://www.biomasseexpo.info/>

■日本経済新聞社、他「第1回環境・再エネ・レジリエンス 展気候変動・災害対策Biz2019」

月日 2019年12月4日（水）～6日（金）

場所 東京ビッグサイト[南1・2ホール]（東京都江東区）

<https://messe.nikkei.co.jp/cc/>

■日本経済新聞社文化事業局イベント事業部「エコプロ

2019」

月日 2019年12月5日(木)～7日(土)

場所 東京ビッグサイト西・南ホール(東京都江東区)

<http://eco-pro.com/2018/outline/001304.html>

■(公社)国土緑化推進機構「森林からはじまるエコライフ展2019」～森と木で拓くSDGsの提案～

月日 2019年12月5日(木)～7日(土)

場所 東京ビッグサイト西・南ホール「エコプロ2019」会場内(東京都江東区)

http://eco-pro.com/eco2019/pdf/forest_exhibition_guidance_2019.pdf

◎リードエグジビションジャパン「スマートエネルギーWeek内バイオマス展」【東京展】

月日 2020年2月26日(水)～28日(金)

場所 東京ビッグサイト(東京都江東区)

<https://www.bm-expo.jp/ja-jp.html>

■(一社)日本森林学会「第131回日本森林学会大会」

月日 2020年3月27日(金)～30日(月)

場所 名古屋大学東山キャンパス(愛知県名古屋市)

<https://www.forestry.jp/>

■ISAP2020 日本開催組織委員会「国際応用藻類学会第7回大会(ISAP2020)」

月日 2020年4月20日(月)～24日(金)

場所 幕張メッセ(千葉県千葉市)

<http://v4.eir-parts.net/v4Contents/View.aspx?cat=tdnet&sid=1627880>

■日報ビジネス(株)「2020 NEW 環境展」「2020 地球温暖化防止展」

月日 2020年4月22日(水)～24日(金)

場所 インテックス大阪(大阪府)

<http://www2.nippo.co.jp/stop-ondanka18/>

◎リードエグジビションジャパン「スマートエネルギーWeek内バイオマス展」【関西展】

月日 2020年9月9日(水)～11日(金)

場所 インテックス大阪(大阪府大阪市)

<https://www.bm-expo.jp/ja-jp.html>

◎リードエグジビションジャパン「スマートエネルギーWeek内バイオマス展」【東京展】

月日 2021年3月3日(水)～5日(金)

場所 東京ビッグサイト(東京都江東区)

<https://www.bm-expo.jp/ja-jp.html>

■日報ビジネス(株)「2021 NEW 環境展」「2021 地球温暖化防止展」

月日 2021年5月

場所 東京ビッグサイト(東京都江東区)

<https://www.nippo.co.jp/n-expo019/index.htm>

◎リードエグジビションジャパン「スマートエネルギーWeek内バイオマス展」【関西展】

月日 2021年9月29日(水)～10月1日(金)

場所 インテックス大阪(大阪府大阪市)

<https://www.bm-expo.jp/ja-jp.html>

4. イベント情報(海外)

◆11th ASIA Sustainable Oil Palm Summit

月日 2019年7月2日(火)～3日(水)

場所 ジャカルタ(インドネシア)

<https://www.cmtevents.com/aboutevent.aspx?ev=190717&>

場所 バーミンガム(UK)

<http://www.biogastradeshows.com/>

◎Biomass to Power North America

月日 2019年7月10日(水)～11日(木)

場所 ノースカロライナ州ローリー(USA)

<https://www.wplgroup.com/aci/event/biomass-to-power->

◆UK AD And World Biogas EXPO 2019

月日 2019年7月3日(水)～4日(木)

[north-america/](#)

◆Smart Home Energy Management Systems Conference 2019

月日 2019年7月17日(水)～18日(木)

場所 マサチューセッツ州ボストン(USA)

<https://www.wplgroup.com/aci/event/connected-smart-home-energy-management/>

◆INDO RENERGY 2019 Expo & Forum

月日 2019年7月17日(水)～7月19日(金)

場所 ジャカルタ(インドネシア)

<http://www.indorenergy.com/>

◆BIOGAS UPGRADING AND CBG ROUNDTABLE 2019

月日 2019年8月14日(水)～16日(金)

場所 バンコク(タイ)

<http://www.icesn.com/>

◆25. Internationale Forstmesse

月日 2019年8月15日(木)～18日(日)

場所 ルツェルン(スイス)

<http://www.forstmesse.com/htm/home.htm>

◆The 8th Asia-Pacific Bioenergy Exhibition

— The 6th Asia-Pacific Bioenergy Summit

月日 2019年8月16日(金)～18日(日)

場所 広州市(中華人民共和国)

<http://www.apbechina.com/index.php?lang=en>

◆POWERGEN Asia Conference & Exhibition

月日 2019年9月3日(火)～5日(木)

場所 クアラルンプール(マレーシア)

<https://www.powergenasia.com/en/index.html>

◆Forest Romania 2019

月日 2019年9月5日(木)～7日(土)

場所 ジジ(ルーマニア)

<http://www.forestromania.com/en/>

◆Future Resource 2019

月日 2019年9月11日(水)～12日(木)

場所 バーミンガム(UK)

<http://www.futureresourceexpo.com/>

◆13th Carbon Dioxide Utilization Summit

月日 2019年9月11日(水)～12日(木)

場所 カルガリー(カナダ)

<https://www.wplgroup.com/aci/event/co2-canada/>

◆16th Annual Global Buyers Mission

月日 2019年9月11日(水)～13日(金)

場所 ブリティッシュコロンビア州ウィスラー(カナダ)

<http://www.bcwood.com/events/global-buyers-mission/>

◆11th ASIA Sustainable Oil Palm Summit

月日 2019年9月12日(木)～13日(金)

場所 ジャカルタ(インドネシア)

<https://www.cmtevents.com/aboutevent.aspx?ev=190717&>

◆Advanced Biofuels Conference

月日 2019年9月17日(火)～19日(木)

場所 スtockホルム(スウェーデン)

<https://www.svebio.se/en/evenemang/advanced-biofuels-conference-2/>

◆Renewable Energy India Expo

月日 2019年9月18日(水)～20日(金)

場所 グレーター・ノイダ(インド)

<https://www.renewableenergyindiaexpo.com/>

◆BIOGAS CHINA FORUM 2019

月日 2019年9月19日(木)

場所 青島市(中華人民共和国)

<http://www.icesn.com/>

◆EXPOBIOMASA 2019

月日 2019年9月24日(火)～26日(木)

場所 バリャドリッド(スペイン)

<https://www.expobiomasa.com/>

◆3rd Biomass Trade and BioEnergy Africa

月日 2019年9月25日(水)～26日(木)

場所 アビジャン(コートジボワール)

<https://www.cmtevents.com/aboutevent.aspx?ev=190921&>

◆Comfort Home 2019

月日 2019年9月27日(金)～29日(日)

場所 リガ(ラトビア)

<http://www.comforhome.lv/eng/>

◆EFE 2019 - 3rd Trade Fair for Energy Efficiency in Industry

月日 2019年10月2日(水)～3日(木)

場所 クラクフ(ポーランド)

<http://www.eke.krakow.pl/gb/>

◎USIPA 2019 Exporting Pellets Conference

月日 2019年10月6日(日)～8日(火)

場所 フロリダ州マイアミビーチ(USA)

<https://theusipa.org/2019-conference>

◆Austrofoma 2019

月日 2019年10月8日(火)～10日(木)

場所 エステルハーギー・フォルヒテンシュタイン(オーストリア)

<http://www.austrofoma.at/en/allgemeine-infos.html>

◆The 11th PALMEX Indonesia 2019

月日 2019年10月8日(火)～10日(木)

場所 北スマトラ州(インドネシア)

<http://www.palmoilexpo.com/conference-schedule.html>

◆Argus Biofuels

月日 2019年10月8日(火)～11日(金)

場所 ロンドン(UK)

<https://www.argusmedia.com/ja/conferences-events-listing/biofuels>

◆14th Carbon Dioxide Utilisation Summit

月日 2019年10月9日(水)～10日(木)

場所 デュッセルドルフ(ドイツ)

<https://www.wplgroup.com/aci/event/co2/>

◆IGEM 2019 - International Greentech & Eco Products Exhibition & Conference Malaysia

月日 2019年10月9日(水)～10月11日(金)

場所 クアラルンプール(マレーシア)

<http://www.igem.my>

◆Progress in Biomethane Mobility

月日 2019年10月15日(火)～17日(木)

場所 シュヴェービッシュ・ハル(ドイツ)

<http://www.ibbk-biogas.de/en-gb/conference-biomethane-mobility-oct2019>

◆NAEE 2019 - Nigeria Alternative Energy Expo

月日 2019年10月15日(火)～10月17日(木)

場所 アブジャ(ナイジェリア)

<http://www.nigeriaalternativeenergyexpo.org/>

◆Argus Biofuels & Carbon Markets Summit

月日 2019年10月21日(月)～23日(水)

場所 カリフォルニア州ナパバレー(USA)

<https://www.argusmedia.com/ja/conferences-events-listing/biofuels-and-carbon-markets>

◆International Biomass Congress & EXPO

月日 2019年10月22日(火)～23日(水)

場所 ブリュッセル(ベルギー)

<http://www.bioenergy-news.com/conference/>

◆International Biogas Congress & EXPO

月日 2019年10月22日(火)～23日(水)

場所 ブリュッセル(ベルギー)

<http://www.bioenergy-news.com/conference/>

◆biofuels international Conference & Expo

月日 2019年10月22日(火)～23日(水)

場所 ブリュッセル(ベルギー)

<http://www.bioenergy-news.com/conference/>

◆GLOBAL BIOFUELS SUMMIT

月日 2019年10月22日(火)～23日(水)

場所 シンガポール(シンガポール)

<https://www.cmtevents.com/aboutevent.aspx?ev=191022&>

◆Argus Biomass Nordics and Baltics

月日 2019年10月29日(火)～31日(木)

場所 コペンハーゲン(デンマーク)

<https://www.argusmedia.com/ja/conferences-events-listing/biomass-nordics-baltics>

◆23rd edition ECOMONDO The Green Technology Expo

月日 2019年11月5日(火)～8日(金)

場所 リミニ(イタリア)

<https://en.ecomondo.com/>

◎European Biomass to Power Conference

月日 2019年11月6日(水)～7日(木)

場所 ヘルシンキ(フィンランド)

<https://www.wplgroup.com/aci/event/european-biomass-to-power/>

◆5th Power & Energy Tanzania 2019

月日 2019年11月7日(木)～11月9日(土)

場所 ダレスサラーム(タンザニア)

<https://www.expogr.com/tanzania/powerenergy/>

◆Future of Biogas Europe 2019

月日 2019年11月13日(水)～14日(木)

場所 アムステルダム(オランダ)

<https://www.wplgroup.com/aci/event/future-biogas-europe/>

◆European Methanol Summit

月日 2019年11月13日(水)～14日(木)

場所 ドュッセルドルフ(ドイツ)

<https://www.wplgroup.com/aci/event/european-methanol-summit/>

◆Shanghai International Exhibition on Heating Technology

2019

月日 2019年11月25日(月)～27日(水)

場所 上海(中華人民共和国)

<https://www.heatecchina.com/Heatec19/idx/eng/home>

◆BIOGAS Asia Pacific Forum 2019

月日 2019年11月26日(火)～27日(水)

場所 ジャカルタ(インドネシア)

<http://www.icesn.com/>

◆Asian Biomass to Power

月日 2019年11月27日(水)～28日(木)

場所 クアラルンプール(マレーシア)

<https://www.wplgroup.com/aci/event/asian-biomass-to-power/>

◆Energy from Waste

月日 2019年12月3日(火)～4日(水)

場所 ロンドン(UK)

https://www.smi-online.co.uk/utility/uk/energy-from-waste?utm_medium=www.efw-event.com&utm_source=E-090&utm_campaign=bioen

◆ALGAEUROPE 2019

月日 2019年12月3日(火)～5日(木)

場所 パリ(フランス)

<https://algaeurope.org/>

◆BIOGAS Convention & Trade Fair

月日 2019年12月10日(火)～12日(木)

場所 ニュルンベルク(ドイツ)

<https://www.biogas-convention.com/en/>

◎European Pellet Conference 2020

月日 2020年3月4日(水)～6日(金)

場所 ヴェルス(オーストリア)

<http://www.wsed.at/en/world-sustainable-energy-days.html>

◆The WORLD SUSTAINABLE ENERGY DAYS 2020

月日 2020 年 3 月 4 日（水）～6 日（金）

場所 ヴェルス（オーストリア）

<http://www.wsed.at/en/world-sustainable-energy-days.html>

◎Biomass Brno

月日 2020 年 3 月 31 日（火）～4 月 4 日（土）

場所 ブルノ（チェコ共和国）

<https://www.bvv.cz/en/biomass/>

◆10th European Algae Industry Summit

月日 2020 年 4 月 29 日（水）～30 日（木）

場所 レイキャビク（アイスランド）

<https://www.wplgroup.com/aci/event/european-algae-industry-summit/>

◆KWF Tagung 2020

月日 2020 年 7 月 1 日（水）～4 日（土）

場所 ヘッセン州シュヴァルツェンボルン（ドイツ）

<http://www.kwf-tagung.org/kwf-tagung.html>

◆POLLUTEC

月日 2020 年 12 月 1 日（火）～4 日（金）

場所 リヨン（フランス）

<https://www.pollutec.com/en/home/>

◆Elmia Wood

月日 2021 年 6 月 2 日（水）～5 日（土）

場所 ヨンショーピン（スウェーデン）

<https://www.elmia.se/wood/>

5. 平成 31 年度ペレットストーブ、ボイラ補助金情報

※締切や公募の条件等の詳細は各自治体にお問い合わせください。

◇：ストーブ

◆：ストーブ・ボイラ共

【北海道】

◆北見市「木質ペレットストーブ等導入支援事業補助金」

<https://www.city.kitami.lg.jp/docs/2014052600024/files/hojokinkouhuyoukou.pdf>

【山形県】

◆山形市「令和元年度薪ストーブ等利用拡大支援事業補助金」

<https://www.city.yamagata-yamagata.lg.jp/shimin/sub4/energy/9e118pd0323105020.html>

◇西川町「令和元年度西川町薪ストーブ等利用拡大支援事業」

https://www.town.nishikawa.yamagata.jp/chomin/05/2019-0514-0944-78_makisutobu.html

◇尾花沢市「平成 31 年度 尾花沢市再生可能エネルギー設備導入事業」

<http://www.city.obanazawa.yamagata.jp/10470.html>

◇庄内町「平成 31 年度庄内町木質ペレットストーブ等導入支援事業補助金」

https://www.town.shonai.lg.jp/gyousei/shounai/ordinance_outline/2018-0615-1510-34.html

【福島県】

◇大玉村「住宅用再生可能エネルギー設備設置補助金」

https://www.vill.otama.fukushima.jp/file/contents/1146/15856/R01_teijyuuguide.pdf

【栃木県】

◇那珂川町「平成 31 年度那珂川町低炭素まちづくり推進設備等導入事業費補助金」

<http://www.town.tochigi-nakagawa.lg.jp/30section/020taisaku/02news/2019-0401-1423-23.html>

【埼玉県】

◆埼玉県「【令和元年度】埼玉県分散型エネルギー利活用設備整備費補助金」

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0503/bunnsanngata-hozyo.html>

【千葉県】

◆南房総市「南房総市施設園芸用木質バイオマス暖房機設置費等補助金」

<https://www.city.minamiboso.chiba.jp/0000007149.html>

【東京都】

◇稲城市「平成 31 年度稲城市住宅用創エネルギー機器等導入促進事業補助金」

<https://www.city.inagi.tokyo.jp/kankyo/kankyou/juutakuyousouenergy/souenehojyoinfo.html>

【新潟県】

◇見附市「令和元年度新エネルギー導入促進事業補助金」

<http://www.city.mitsuke.niigata.jp/item/19877.htm>

【長野県】

◇飯田市「令和元年度薪ストーブ・ボイラー、竹ボイラー設置補助金」

<https://www.city.iida.lg.jp/site/ecomodel/r1maki2.html>

◇伊那市「薪ストーブ等の設置に対する補助金」

https://www.inacity.jp/sangyo_noringyo/noringyo/ringyo/mokushitsubaiomasu/makistove.html

◇上田市「薪ストーブの購入費補助」

<https://www.city.ueda.nagano.jp/sinrin/kurashi/joho/makistove.html>

◆佐久市「令和元年度佐久市木質バイオマス熱利用設備導入事業補助金」

http://www.city.saku.nagano.jp/kurashi/kankyo_kogai/shin_energy/h27mokushitsubio.html

◇松本市「松本市ペレットストーブ購入事業補助金」

<https://www.city.matsumoto.nagano.jp/kurasi/sigoto/ringyo/osirase/peretto.html>

※受付は 2019 年 7 月 16 日から開始

【静岡県】

◇浜松市「浜松市木質バイオマス利用促進事業費補助金」

https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/ringyou/portal/ringyou/pellet_stove/index.html

【滋賀県】

◇米原市「びわ湖の素・米原 住宅リフォーム補助金」

https://www.city.maibara.lg.jp/reiki/reiki_honbun/r108RG00001446.html#e000000150

※対象は薪ストーブ

【京都府】

◇京丹後市「平成 31 年度京丹後市自立循環型資源利活用促進支援補助金（第 1 次）」

<https://www.city.kyotango.lg.jp/top/kurashi/kankyo/4/1/9756.html>

【鳥取県】

◇琴浦町「琴浦町住宅用太陽光発電等導入推進補助金」

http://www.town.kotoura.tottori.jp/doc_lib/2/2788/taiyoukou1.pdf

【山口県】

◇光市「令和元年度光市省エネ生活普及促進事業（エコライフ補助金）」

<https://www.city.hikari.lg.jp/seisaku/31-shoene.html>

【高知県】

◇仁淀川町「仁淀川町再生可能エネルギー利活用事業費補助金」

http://www.town.niyodogawa.lg.jp/reiki/reiki_honbun/r191RG00000129.html

【福岡県】

◆うきは市「うきは市薪ストーブ等設備導入補助金」

file:///C:/Users/user/AppData/Local/Temp/35_1212_9657_u

※薪ストーブ・ボイラが対象

【熊本県】

◇小国町「令和元年度小国町エコハウス設備設置補助金」

<https://www.town.kumamoto-oguni.lg.jp/q/aview/1/997.html>

6. 公募等情報（締切順）

◇福島県「福島空港における再生可能エネルギー設備導入可能性調査業務委託に係る公募型プロポーザルの実施について」

募集期間 2019年6月17日（月）～7月5日（金）

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11025c/fa-koubo.html>

◇北海道「エネルギー地産地消スタートアップ支援事業委託業務公募型プロポーザルの実施について」

参加表明書提出締切：2019年7月5日（金）

企画提案書提出締切：2019年7月12日（金）

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kke/sene/scodeR1.htm>

◇（公社）国土緑化推進機構「森林からはじまるエコライフ展2019」～森と木で拓くSDGsの提案～出展者募集中

月日 ～2019年7月12日（金）

場所 東京ビッグサイト西・南ホール「エコプロ2019」会場内（東京都江東区）

http://eco-pro.com/eco2019/pdf/forest_exhibition_guidance_2019.pdf

◇（一財）新エネルギー財団「令和元年度『新エネ大賞』の募集開始」

募集期間 2019年5月13日（月）～7月12日（金）

https://www.nef.or.jp/award/boshu/boshu_r01.html

◇（公財）公益財団法人自然保護助成基金「第30期プロ・ナトゥーラ・ファンド助成募集」

応募締切 2019年7月12日（金）

<http://www.pronaturajapan.com/announce/di30qipuronatourafandozhuchengmujiannai>

◇神奈川県「平成31年度地域電力供給システム整備事業」

公募期間 2019年4月18日（木）～7月12日（金）

<http://www.pref.kanagawa.jp/docs/e3g/cnt/f533002/p941454.html>

◇新潟県「令和元年度新潟県地域再生可能エネルギー面的活用促進事業」

募集期間 2019年5月27日（月）～7月12日（金）

<http://www.pref.niigata.lg.jp/sangyoshinko/1356916119227.html>

◇北海道「新エネルギー導入支援事業（設備導入支援）」（追加公募）

公募期間 2019年6月6日（木）～7月19日（金）

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kke/setsubidounyuu.htm>

◇北海道「新エネルギー設計支援事業」（追加公募）

公募期間 2019年6月6日（木）～7月19日（金）

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kke/sekkeishien.htm>

◇北海道「令和元年度（2019年度）地域資源活用基盤整備支援事業費補助金」

公募期間 2019年6月6日（木）～7月19日（金）

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kke/kiban.htm>

◇北海道「地域新エネルギー導入加速化調査支援事業」（追加公募）

公募期間 2019年6月6日（木）～7月19日（金）

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kke/chousashien.htm>

◇兵庫県「平成31年度地域創生！再エネ発掘プロジェクトの募集について（設備導入無利子貸付事業）」

募集期間 2019年3月14日（木）～7月19日（金）

<http://www.kankyo.pref.hyogo.lg.jp/jp/warming/%E8%9E%8D>

<http://www.maff.go.jp/j/press/shokusan/bioi/190522.html>

◇関係 7 府省「令和元年度 バイオマス産業都市の募集について」

募集期間 2019 年 5 月 22 日（水）～7 月 19 日（金）

<http://www.maff.go.jp/j/press/shokusan/bioi/190522.html>

◇福島県「令和元年度福島県自家消費型再生可能エネルギー導入モデル支援事業補助金」

公募締切 2019 年 7 月 19 日（金）

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11025c/fukushima-zikasyouhi.html>

◇和歌山県「中小企業向け省エネ補助金の公募について」

募集期間 2019 年 6 月 26 日（水）～7 月 31 日（水）

<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/063100/d00201635.html>

◇滋賀県「令和元年度滋賀県分散型エネルギーシステム導入加速化事業補助金の募集について」

募集期間 3 次締切：2019 年 7 月 31 日（水）

4 次締切：2019 年 8 月 30 日（金）

最終締切：2019 年 9 月 30 日（月）

<https://www.pref.shiga.lg.jp/kensei/koho/e-shinbun/bosyuu/304346.html>

◇滋賀県「令和元年度滋賀県省エネ設備導入加速化事業補助金」

募集期間 3 次締切：2019 年 7 月 31 日（水）

4 次締切：2019 年 8 月 30 日（金）

最終締切：2019 年 9 月 30 日（月）

<https://www.pref.shiga.lg.jp/kensei/koho/e-shinbun/bosyuu/304246.html>

◇（一財）環境イノベーション情報機構「平成 30 年度及び平成 31 年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金（地域の防災・減災と低炭素化を同時実現する自立・分散型エネルギー設備等導入推進事業）」

公募期間 2019 年 7 月 1 日（月）～7 月 31 日（水）

2019 年 8 月 1 日（木）～8 月 30 日（金）

2019 年 9 月 2 日（月）～9 月 30 日（月）

http://www.eic.or.jp/eic/topics/2019/0507_bs.html

◇長野県「平成 31 年度地域主導型自然エネルギー創出支援事業」

・第二次募集 2019 年 6 月 27 日（木）～8 月 1 日（木）

・第三次募集 2019 年 9 月 5 日（木）～10 月 3 日（木）

<https://www.pref.nagano.lg.jp/ontai/tiikisyudou.html>

◇長野県「平成 31 年度自然エネルギー地域発電推進事業の募集について」

・第二次募集 2019 年 7 月 5 日（金）～8 月 5 日（月）

・第三次募集 2019 年 9 月 6 日（金）～10 月 7 日（月）

<https://www.pref.nagano.lg.jp/ontai/kurashi/ondanka/shizen/tiikihatuden-suishin.html>

◇イオン環境財団「第 29 回イオン環境活動助成公募」

募集期間 2019 年 6 月 1 日（土）～8 月 20 日（火）

<https://www.aeon.info/ef/>

◇（一社）低炭素エネルギー技術事業組合「2019 年度（平成 31 年度）二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金（CO2 削減ポテンシャル診断推進事業のうち低炭素機器導入事業）」（2 次公募）
公募期間 2019 年 8 月 1 日（木）～8 月 30 日（金）

<http://lcep.jp/2019/setsubi/koubo.html>

◇緑の地球防衛基金「2020 年度地球にやさしいカード助成金交付団体の募集」

募集期間 2019 年 8 月 1 日（木）～9 月 30 日（月）

<https://green-earth-japan.net/>

◇滋賀県「令和元年度滋賀県分散型エネルギーシステム導入加速化事業補助金の募集について」

募集期間 2019 年 5 月 21 日（火）～9 月 30 日（月）

<https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/kankyoshizen/ondanka/304215.html>

◇宮城県仙台市「低炭素型ボイラー転換補助金交付事業」

申請受付 2019 年 6 月 3 日（月）～10 月 31 日（木）

<http://www.city.sendai.jp/taiki/jigyosha/kankyo/hozen/kogaiboshi/tetanso.html>

◇栃木県「低炭素社会づくり促進事業費補助金」

申請受付期間 2019年6月3日(月)～11月8日(金)

<http://www.pref.tochigi.lg.jp/d02/kouhou/teitansosyakaidukurihojyo.html>

◇環境省「2019年度(平成31年度)『二国間クレジット制度資金支援事業のうち設備補助事業』の公募について」

募集期間 2019年4月5日(金)～11月29日(金)

<http://www.env.go.jp/press/106662.html>

◇(一社)京都知恵産業創造の森「再生可能エネルギー設備等導入補助事業補助金」

申請受付期間 2019年4月22日(月)～2020年1月31日(金)

<http://www.kyoto-eco.jp/support/y2019/saiene.html>

◇鳥取県「鳥取県再生可能エネルギー活用事業可能性調査支援補助金」

募集期間 2019年4月1日(月)～2020年2月28日(金)

<https://www.pref.tottori.lg.jp/195435.htm>

◇神奈川県小田原市「市民参加型再生可能エネルギー事業奨励金(土地)」

申請書提出期限 2020年2月28日(金)

http://www.city.odawara.kanagawa.jp/field/envi/energy/citizen_participation/shoureikin-setubi-t.html

◇神奈川県小田原市「市民参加型再生可能エネルギー事業奨励金(認定設備)」

申請書提出期限 2020年2月28日(金)

http://www.city.odawara.kanagawa.jp/field/envi/energy/citizen_participation/shoureikin-setubi.html

◇神奈川県小田原市「市民参加型再生可能エネルギー事業奨励金(土地)」

申請書提出期限 2020年2月28日(金)

http://www.city.odawara.kanagawa.jp/field/envi/energy/citizen_participation/shoureikin-setubi-t.html

◇神奈川県小田原市「小田原市再生可能エネルギー事業奨励金」

申請書提出期限 2020年2月28日(金)

<http://www.city.odawara.kanagawa.jp/field/envi/energy/bounty/Incentivefee.html>

◇兵庫県宍粟市「木質バイオマス燃料製造設備補助金」

受付期間 2019年4月1日(月)～2020年3月16日(月)

<https://www.city.shiso.lg.jp/kurashi/gomishinyokankyo/kankyorisakuru/1515747829708.html>

◇林野庁「省エネ再エネ高度化投資促進税制」

適用期間 2018年4月1日～2020年3月31日

<https://www.jwba.or.jp/%E6%96%B0%E8%A6%8F%E3%83%9A%E3%83%BC%E3%82%B8-1/%E7%9C%81%E3%82%A8%E3%83%8D%E5%86%8D%E3%82%A8%E3%83%8D%E9%AB%98%E5%BA%A6%E5%8C%96%E4%BF%83%E9%80%B2%E7%A8%8E%E5%88%B6/>

◇京都府「自立型再生可能エネルギー導入等計画の認定及び導入支援制度」

申請期間 2015年10月1日(木)～2021年3月31日(水)

<http://www.pref.kyoto.jp/energy/documents/nintaiseidogaiyou.pdf>

◇東京都「東京都区市町村との連携による地域環境力活性化事業」

事業期間 2014年度～2023年度

http://www.kankyo.metro.tokyo.jp/policy_others/municipal_support/current.html

◇高知県「高知県木質資源利用促進事業費補助金」

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/030501/2019022200068.html>

◇高知県「再生可能エネルギー利活用事業費補助金」

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/610301/2015060100117.html>

◇高知県香南市「香南市燃料タンク対策事業費補助金」

http://www.city.kochi-konan.lg.jp/reiki_int/reiki_honbun/r254RG00001291.html

◇高知県仁淀川町「仁淀川町再生可能エネルギー利活用事業費補助金」

http://www.town.niyodogawa.lg.jp/reiki/reiki_honbun/r191RG00000129.html#e000000030

◇栃木県「栃木県環境保全資金（省エネ設備等の導入）」

<http://www.pref.tochigi.lg.jp/d02/eco/kankyou/ondanka/syouene-setubi-yuusi.html>

※融資制度

◇徳島県「自然エネルギー立県とくしま推進資金貸付制度」

<https://www.pref.tokushima.lg.jp/jigyoshanokata/kurashi/shizen/5007685/>

※融資制度

◇奈良県「新エネルギー等対策資金」

<http://www.pref.nara.jp/23346.htm>

※融資制度

◇（公財）日本環境協会「2019年度（平成31年度）環境配慮型融資促進利子補給事業」

https://www.jeas.or.jp/activ/prom_23_00.html

※融資制度

◇横浜市「よこはまプラス資金（環境・エネルギー対策）」

<https://www.city.yokohama.lg.jp/business/bunyabetsu/kan-kyo-koen-gesui/plus/taisyuu.html>

※融資制度

◇千葉県「環境保全資金（制度全般事業認定）」

<https://www.pref.chiba.lg.jp/shigen/chikyuu-kankyou/ne/s-hien-jigyousha.html>

◇千葉県市原市「市原市企業立地促進条例」

<http://www.city.ichihara.chiba.jp/kanko/0205sangyou/kigyourittigaido.html>

◇千葉県南房総市「南房総市施設園芸用木質バイオマス暖房機設置費等補助金」

<http://www.city.minamiboso.chiba.jp/0000007149.html>

◇（一社）環境共創イニシアチブ（SII）「平成30年度補正予算『災害時にも再生可能エネルギーを供給力として稼働可能とするための蓄電池等補助金（地域マイクログリッド構築支援事業のうち、マスタープラン作成事業）』の2次公募について」（予告）

<https://sii.or.jp/microgrid30r/note2.html>

※公募開始予定：2019年7月中旬

◇（一社）環境共創イニシアチブ（SII）「平成30年度補正予算『災害時にも再生可能エネルギーを供給力として稼働可能とするための蓄電池等補助金（地域マイクログリッド構築支援事業のうち、地域マイクログリッド構築事業）』の2次公募について」（予告）

<https://sii.or.jp/microgrid30r/note6.html>

※公募開始予定：2019年7月中旬

◇NEDO「バイオマスエネルギーの地域自立システム化実証事業／事業性評価（FS）、実証事業」に係る公募について（予告）」

https://www.nedo.go.jp/koubo/FF1_100262.html

※公募開始予定：2019年8月上旬